

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成29年3月

【担当及び関係課】 都市整備局都市機能調整部、市民局市民安全推進課、経済観光局観光政策部
道路交通局自転車都市づくり推進課、道路計画課、街路課

計画の名称	都心の活性化と回遊性の向上		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		
計画の目標	本市では、个性的で魅力ある都心空間を目指し、平成18年3月に広島都心地区を対象に都市再生整備計画を作成し各種事業を実施してきた。平成22年度からの5年間では、平成25年春の全国菓子大博覧会の開催後、各種イベントが開催できる中央公園（旧広島市民球場跡地）整備や東千田公園の整備などを実施し都心の魅力向上やにぎわい創出を図るとともに、広島都心地区都市再生整備計画事業などによる歩行者空間の拡充など安心して楽しく回遊できる歩行環境を整備し、都心の活性化と回遊性の向上を図る。		
計画の成果目標（定量的指標）	(1) 都心のにぎわい・交流の満足度を平成22年度から平成26年度で0.5ポイント増とする。 (2) 再び広島市を訪れたいと思う来訪者の割合を平成22年度から平成26年度で0.6ポイント増とする。 (3) 都心の交通環境の満足度を平成22年度から平成26年度で0.4ポイント増とする。 (4) 中央公園及び東千田公園におけるイベントの開催件数を平成22年度から平成26年度で18件増とする。		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
(1) 都心が、食事や買物、娯楽、文化を楽しむ場として、魅力的であると思う市民の割合とし、アンケート調査により把握する。	55.7%	55.9%	56.2%
(2) 広島市を来訪した人のうち、再び広島市を訪れたいと思う人の割合とし、アンケート調査により把握する。	62.9%	63.2%	63.5%
(3) 歩行や自転車走行のしやすさなど、都心における交通環境に満足している市民の割合とし、アンケート調査により把握する。	41.8%	42.0%	42.2%
(4) 中央公園及び東千田公園におけるイベントのための使用許可件数とし、所管部署が把握する数値とする。	45件	—	63件

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H22	197 百万円	○基幹事業 ・広島都心地区都市再生整備計画事業 計画どおり道路や高質空間形成施設の整備等を実施し、事業が完了した。 ・中央公園（旧広島市民球場跡地）整備 旧広島市民球場を解体し、その跡地に緑地広場の整備を計画していたが、改めて市民から意見を聴き、新たに活用方策を作成することとなったため、解体工事のみを実施し、緑地広場の整備に着手できなかった。 ○関連社会資本整備事業 ・平和大橋歩道橋整備 整備内容を見直すことになったため、事業着手が遅れたが、見直した計画に基づき、歩道橋整備を進め、事業進捗を図っている。 ・平和大通り緑地帯再整備 平和大橋歩道橋の整備内容の見直しに伴い、歩道橋の完成後に実施することとなったため、事業着手できなかった。 ・薬研堀通り歩道整備 計画どおり歩道整備を実施し、事業が完了した。 ○効果促進事業 ・京橋川オープンカフェ新規展開に係るイベント広場等整備 計画どおりイベント広場整備等を実施し、事業が完了した。 ・川と海の航路の連携に関する社会実験 計画どおり社会実験を実施し、事業が完了した。 ・イベント促進に向けた具体的方策の調査・検討 基幹事業「中央公園（旧広島市民球場跡地）整備」で整備する都市公園におけるイベント促進に向けた調査・検討を計画していたが、基幹事業と同様の理由により、事業着手できなかった。
	H23	202 百万円	
	H24	1 百万円	
	H25	40 百万円	
	H26	18 百万円	
	合計	458 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況	○基幹事業 ・広島都心地区都市再生整備計画事業 中1区139号線歩道整備、平和大通り自転車等駐車場整備、平和大通りリニューアル空間整備、若草町再開発ビルペDESTリアンデッキ整備などを実施し、都心の魅力や回遊性の向上が図られている。 ・中央公園（旧広島市民球場跡地）整備 解体工事後、球場跡地を暫定的に利用しており、各種イベントが開催され、都心の魅力向上やにぎわい創出が図られている。 ○関連社会資本整備事業 ・平和大橋歩道橋整備 本計画期間中において下部工までを実施した。完成予定の平成30年度には、都心の魅力や回遊性の向上が図られる予定である。 ・薬研堀通り歩道整備 歩道整備により、歩きやすい歩行空間が確保され、都心の回遊性の向上が図られている。 ○効果促進事業 ・京橋川オープンカフェ新規展開に係るイベント広場等整備 イベント広場などを整備し、新規出店したオープンカフェとともに、都心の魅力向上が図られている。 ・川と海の航路の連携に関する社会実験 平成29年4月からは、新たに、広島駅～平和記念公園の水上交通の運航が開始されることから、平和記念公園で、既存の航路（世界遺産航路：平和記念公園～宮島）に乗り換えることによって、広島駅から宮島まで（川から海）の航路の連携を図ることができる。
--------------	--

目標値の実現状況	指標：（１）都心のにぎわい・交流の満足度を平成22年度から平成26年度で0.5ポイント増とする。			目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）		
	55.9%	56.2%		
	中間実績値（H23末）	最終実績値（H26末）		
	63.2%	66.9%		
	指標：（２）再び広島市を訪れたいと思う来訪者の割合を平成22年度から平成26年度で0.6ポイント増とする。			目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）		
	63.2%	63.5%		
	中間実績値（H24末）	最終実績値（H26末）		
	63.6%	67.0%		
	指標：（３）都心の交通環境の満足度を平成22年度から平成26年度で0.4ポイント増とする。			目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）		
	42.0%	42.2%		
	中間実績値（H24末）	最終実績値（H26末）		
	39.6%	43.7%		
	指標：（４）中央公園及び東千田公園におけるイベントの開催件数を平成22年度から平成26年度で18件増とする。			目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）			
—	63件			
中間実績値（H24末）	最終実績値（H26末）			
—	65件			

要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況

3. 今後の方針

本計画期間内で完了しなかった平和大橋歩道橋整備については、社会資本整備総合計画「水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（Ⅱ期）」へ移行し、引き続き整備を行っている。
 本計画期間内で完了しなかった中央公園（旧広島市民球場跡地）整備については、旧広島市民球場跡地が平成29年3月現在、サッカースタジアムの建設候補地の一つとなっていることから、今後、サッカースタジアムの整備に係る検討状況を見極めつつ、旧広島市民球場跡地の活用に向けた取組を行っていく。
 未整備の平和大通り緑地帯再整備については、平和大橋歩道橋の完成後に整備を行っていく。
 今後、こうした取り組みを引き続き行い、都心の活性化と回遊性の向上を図る。

4. その他特記事項